



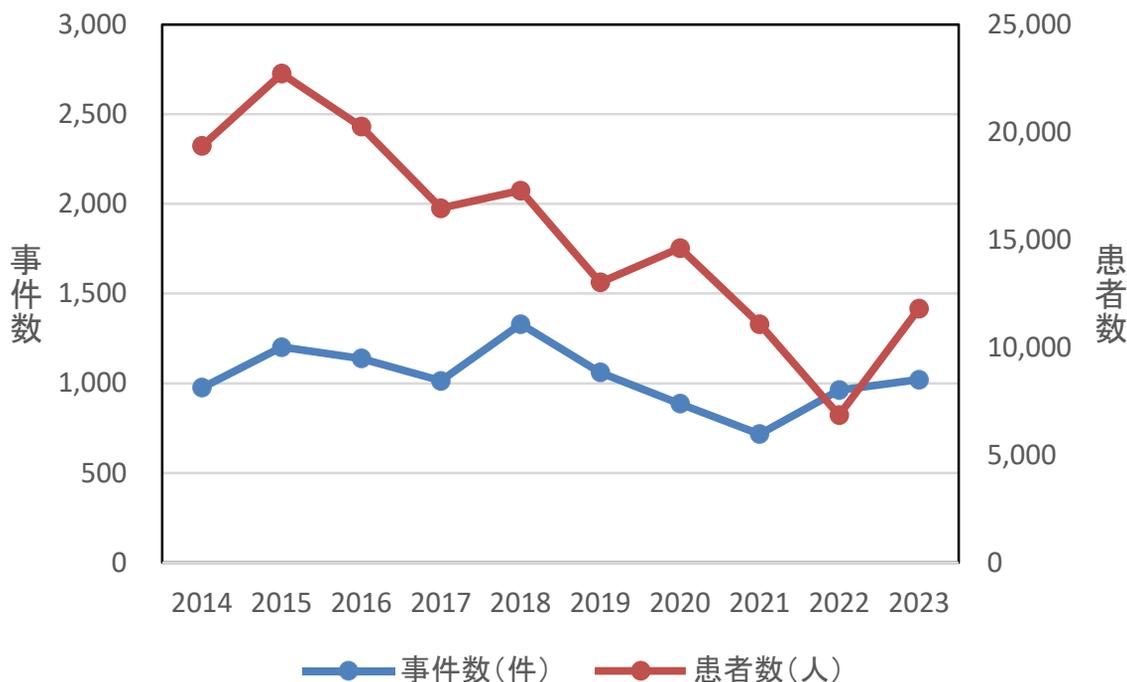
1. 全国食中毒の事件数と患者数の推移

2014年～2023年の全国における食中毒の発生状況(報告数)をみますと、2023年は2022年に比べて事件数、患者数とも増加しました。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、ノロウイルスによる事件数、患者数が大幅に増加しました。

2023年の死者数4名は、植物性自然毒(ドクツルタケ(推定))、サルモネラ属菌、その他の病原大腸菌、その他のウイルスを原因とするものでした。

9月に発生した弁当を原因食品する食中毒は、29都道府県、554名の患者が報告された広域大規模食中毒でしたが、病因物資が特定できていません。

最近10年間の全国の食中毒の事件数と患者数の推移

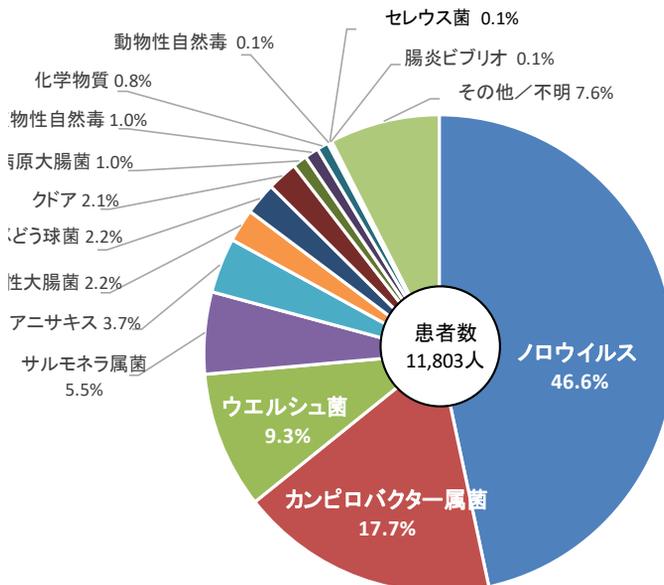
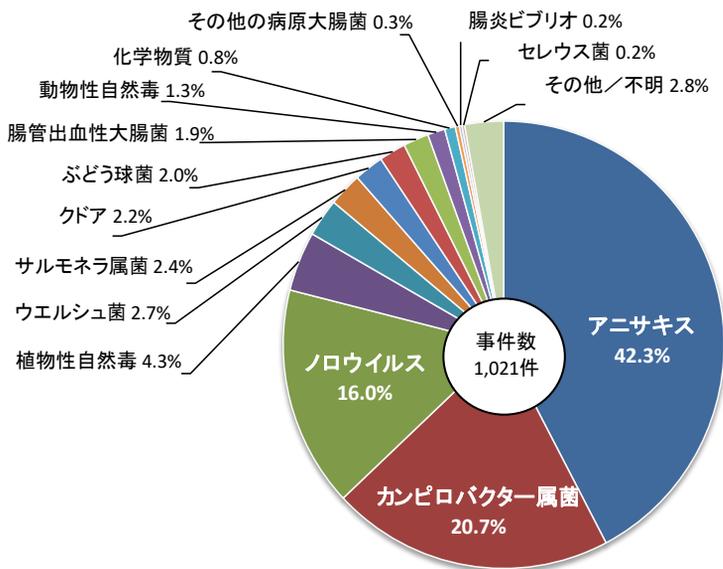


	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
事件数(件)	976	1,202	1,139	1,014	1,330	1,061	887	717	962	1,021
患者数(人)	19,355	22,718	20,252	16,464	17,282	13,018	14,613	11,080	6,856	11,803
死者数(人)	2	6	14	3	3	3	3	2	5	4

2. 病因物質別の食中毒発生状況(2023年)

2023年の病因物質別の食中毒発生状況をみますと、事件数は、2022年に続いて寄生虫のアニサキスがもっとも多く、432件で全体の42.38%を占めました。アニサキスに次いでカンピロバクター属菌が211件、ノロウイルスが163件で、2022年と順位は変わらず、全体の79%を占めていますが、ノロウイルスによる事件数が大幅に増加しました。

2023年の患者数は、ノロウイルスが5,502人ともっとも多く、カンピロバクター属菌が2,089人、ウェルシュ菌が1,097人となりました。ノロウイルスとカンピロバクター属菌による患者数が大幅に増加しました。



3. 最近3年間の病因物質別の食中毒発生件数の推移

病因物質別食中毒発生件数(事件数)

病因物質	2021年		2022年		2023年		3年合計
	事件数	構成比	事件数	構成比	事件数	構成比	
アニサキス	344	48.0%	566	58.8%	432	42.3%	1,342
カンピロバクター属菌	154	21.5%	185	19.2%	211	20.7%	550
ノロウイルス	72	10.0%	63	6.5%	163	16.0%	298
植物性自然毒	27	3.8%	34	3.5%	44	4.3%	105
ウェルシュ菌	30	4.2%	22	2.3%	28	2.7%	80
サルモネラ属菌	8	1.1%	22	2.3%	25	2.4%	55
ブドウ球菌	18	2.5%	15	1.6%	20	2.0%	53
動物性自然毒	18	2.5%	16	1.7%	13	1.3%	47
クドア	4	0.6%	11	1.1%	22	2.2%	37
腸管出血性大腸菌(VT産生)	9	1.3%	8	0.8%	19	1.9%	36
化学物質	9	1.3%	2	0.2%	8	0.8%	19
その他の病原大腸菌	5	0.7%	2	0.2%	3	0.3%	10
セレウス菌	5	0.7%	3	0.3%	2	0.2%	10
腸炎ビブリオ	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%	2
その他/不明	14	2.0%	13	1.4%	29	2.8%	56
計	717	100.0%	962	100.0%	1021	100.0%	2,700

病因物質別食中毒発生件数(患者数)

病因物質	2021年		2022年		2023年		3年合計
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	
ノロウイルス	4,733	42.7%	2,175	31.7%	5,502	46.6%	12,410
ウェルシュ菌	1,916	17.3%	1,467	21.4%	1,097	9.3%	4,480
カンピロバクター属菌	764	6.9%	822	12.0%	2,089	17.7%	3,675
その他の病原大腸菌	2,258	20.4%	200	2.9%	116	1.0%	2,574
サルモネラ属菌	318	2.9%	698	10.2%	655	5.5%	1,671
アニサキス	354	3.2%	578	8.4%	441	3.7%	1,373
ブドウ球菌	285	2.6%	231	3.4%	258	2.2%	774
腸管出血性大腸菌(VT産生)	42	0.4%	78	1.1%	265	2.2%	385
クドア	14	0.1%	91	1.3%	246	2.1%	351
化学物質	98	0.9%	148	2.2%	93	0.8%	339
植物性自然毒	62	0.6%	151	2.2%	114	1.0%	327
セレウス菌	51	0.5%	48	0.7%	11	0.1%	110
動物性自然毒	26	0.2%	21	0.3%	15	0.1%	62
腸炎ビブリオ	0	0.0%	0	0.0%	9	0.1%	9
その他/不明	159	1.4%	148	2.2%	892	7.6%	1,199
計	11,080	100.0%	6,856	100.0%	11,803	100.0%	29,739

4. 原因施設別の食中毒発生病数(2023年)

原因施設	事件数	構成割合	原因施設が判明したものの構成割合	患者数	構成割合	原因施設が判明したものの構成割合	一事件あたりの患者数	死者数
飲食店	489	47.9%	63.3%	6,527	55.3%	57.9%	13.3	1
家庭	112	11.0%	14.5%	173	1.5%	1.5%	1.5	1
販売店	62	6.1%	8.0%	161	1.4%	1.4%	2.6	-
事業場	33	3.2%	4.3%	1,081	9.2%	9.6%	32.8	1
旅館	26	2.5%	3.4%	550	4.7%	4.9%	21.2	-
仕出屋	22	2.2%	2.8%	1,123	9.5%	10.0%	51.0	1
製造所	12	1.2%	1.6%	1,169	9.9%	10.4%	97.4	-
病院	9	0.9%	1.2%	295	2.5%	2.6%	32.8	-
学校	7	0.7%	0.9%	190	1.6%	1.7%	27.1	-
その他・不明	249	24.4%	-	534	4.5%	-	2.1	-
計	1,021	100.0%	100.0%	11,803	100.0%	100.0%	11.6	4

※本資料は厚生労働省ホームページに掲載されている2024年4月8日時点の食中毒統計資料のデータを編集したものです。元となるデータは次のURLをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html